

産業界における低濃度PCBの適正処理 の確保に向けた取組み

2025年3月7日

経団連 環境委員会
PCB対策ワーキング・グループ座長
東内 正春
(東京電力ホールディングス ESG推進室)

本日のご説明内容

I.

産業界のこれまでの取組み概要

- ・はじめに
- ・産業界のこれまでの取組み

II.

低濃度PCBの処理をめぐる課題と対応

- ・使用中の低濃度PCB含有製品の処理促進に向けた課題と対応
- ・環境省「PCB廃棄物適正処理推進に関する検討委員会」において示された課題・対応ポイント

III.

今後の方向性

I. 産業界のこれまでの取組み概要

はじめに

1. これまで産業界においては、高濃度および低濃度P C B問題に対して、政府や自治体、処理事業者などの協力のもと、汚染実態の把握や、安全かつ効率的な処理技術の開発による無害化処理の促進などに着実に取り組んできた。
2. 処理期限以降に廃棄が見込まれる低濃度PCB含有製品及び同疑い製品に対する管理強化及び適正処理の確保等について、環境省が開催する「PCB廃棄物適正処理推進に関する検討委員会」での検討に参画してきた。
3. 今般、中央環境審議会廃棄物処理制度小委員会において、制度的な措置のあり方についての議論が行われることを受け、低濃度PCBの適正処理の確保に向けた産業界の考えをお伝えする。

産業界のこれまでの取組み

1. 高濃度PCB廃棄物の掘り起こしを行い、優先的に処理を促進してきた結果、ほぼ処理が完了している。
2. 低濃度PCB廃棄物について、令和9年3月末の処理期限までに処理を完了する計画である。
3. 使用中の低濃度PCB汚染の疑いがある製品の調査及び分析により、低濃度PCB含有製品を特定、鋭意処理を推進している。
 - ・製品数の調査、課題整理
 - ・POPs条約で確固たる努力を払うこととされている50ppm超の低濃度PCB汚染がある使用中製品の早期処理
 - ・各業界団体においては、以下の取組みを実施
 - 所属する事業者の対応状況の確認
 - 良好事例の共有や処理促進に向けた業界の課題の整理
 - 微量PCB含有電気機器の洗浄法(課電洗浄法)の開発・適用
 - PCB汚染の恐れがある製品の特定等による使用中製品の最少化

Ⅱ. 低濃度PCBの処理をめぐる課題と対応

使用中の低濃度PCB含有製品の処理促進に向けた課題と対応

1. 使用中の低濃度PCB含有製品および同疑い製品の把握、分析、処理を進めているが、廃棄物処理期限以降の廃棄が見込まれる製品が多数存在する。

- 使用中製品の分析・更新にあたっては、製品使用の停止を伴うことから多大な時間がかかる。
- 変圧器をはじめとする電気製品には、非破壊での分析ができない製品（封じ切り製品等）が多く存在し、製品そのものの使用を廃止しなければならない。
- 制御盤等に多数組み込まれており、個々の確認が困難な小型製品が存在する。

このため、廃棄するときまで発見が困難な製品があり、封じきり製品等の濃度分析が不可能な製品等についても適切な把握、管理が必要になる。

2. 上記実態も踏まえ、環境省「PCB廃棄物適正処理推進に関する検討委員会」に産業界も委員として期限以降の管理及び適正処理の確保等に関する議論に参画している。

環境省「PCB廃棄物適正処理推進に関する検討委員会」 において示された「課題」（要旨）【引用・検討中】

1. 現在のPCB特措法では低濃度PCB廃棄物に対する取扱いを規定。中小を含む企業や個人等において、製品が使用中であることやPCB含有製品かどうか不明の疑い物が多数存在。このため上記の規定を変更し、以下の対応とするとともに処理促進策を講ずる。
 - (1) 令和9年3月までに低濃度PCB廃棄物と判明しているものはすべて処理
 - (2) 廃棄物となっていないコンデンサー等の封じ切り機器を含めた使用中の製品について、使用から廃棄までの厳格な管理制度・体制の下で、処理期限後に廃棄された低濃度PCB廃棄物もすべて処理
2. 事業者へのヒアリング等で明らかとなった特殊な事例(上記(2)の対象として検討)
 - ・ 既に低濃度PCB含有が判明しているが、当該製品を廃棄するためには装置全体を交換する必要があるもの
 - ・ 多数の小型PCB含有疑い製品が組み込まれ、1個1個の確認が困難な制御盤等
3. これらの処理促進を図るためにも、同製品の所有者に対する管理の強化や廃棄までのトレーサビリティ確保のための仕組みを導入するなど、現行制度の見直しが必要。

環境省「PCB廃棄物適正処理推進に関する検討委員会」 において示された「対応のポイント」（要旨）【引用・検討中】

1. 処理期限以降に低濃度PCB廃棄物として発生しうる使用中の低濃度PCB使用製品及び同疑い製品について環境上適正な管理及び処分を確実に実施するため、同製品の所有者に対する管理の強化、さらに廃棄までのトレーサビリティ確保のため、PCB特措法を見直して、以下の仕組みを導入。
 - (1) 処理期限後の不適正処理の防止のため、使用中の低濃度PCB含有製品及び同疑い製品に関する届出を義務付ける制度の導入
 - (2) 使用中の低濃度PCB含有製品等の不適切な管理を防止するため、管理基準の設定や基準を遵守させるための仕組みの導入
 - (3) 使用中の低濃度PCB含有製品等を廃棄する際に適正処理を確保するため、自治体への廃棄届出後一定期間内の処理及び処理後の自治体への報告の義務化の導入
2. 届出制度における、自治体や申請者の事務負担の軽減を図るためのDX化、情報の効果的・効率的な運用・活用等。
3. 疑い製品を廃止・廃棄する際にPCB濃度分析を義務付け、PCB廃棄物と確認されたものは、廃止・廃棄の届出後一定期間内の処理を義務化。
4. 疑い製品については各メーカーに製造年度や型式、設置年度などからの対象製品の絞り込みを求め、保管及び使用事業者の負担軽減を図る。

Ⅲ. 今後の方向性

今後の方向性

処理期限以降に低濃度PCB廃棄物として発生しうる使用中の低濃度PCB使用製品及び同疑い製品の取扱いについて、環境省「PCB廃棄物適正処理推進に関する検討委員会」で示された「対応のポイント」は、産業界の考え方と同じ方向性と認識しており、その実現に向けて制度措置の検討を進めていただきたい。

- ① 処理期限以降において「低濃度PCB廃棄物として発生しうる使用中の低濃度PCB使用製品及び同疑い製品」に関し、適正な管理及び処分の確実な実施を求める措置について、関係省庁で連携の上、届出制度の導入等の制度改正をお願いしたい。
- ② 制度改正においては、DXによる効率化や製品の実態も踏まえた届出方法、対象製品の設定等、合理的かつ実行可能な制度となるようよう、ご検討いただきたい。

おわりに

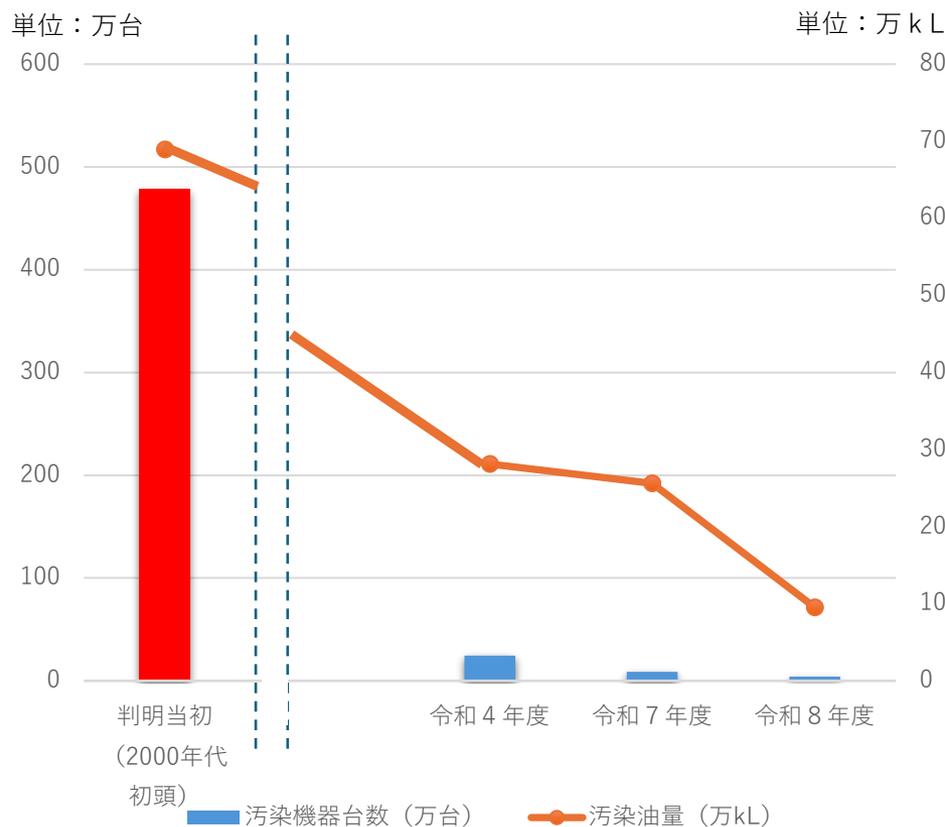
PCBによる環境汚染等を防ぐため、PCBの廃絶は社会的な重要課題。

このため産業界は、「PCB廃棄物適正処理推進に関する検討委員会」に引き続き参画し、PCBの早期かつ確実な処理に向けて最大限取り組んでもなお、今後覚知される低濃度PCB廃棄物を適正に管理・速やかに処理するため、検討委員会で議論されている制度的な対応を真摯に受け止め、環境上のリスクを極力低減するよう徹底する所存。

参考資料

- ・ 図表 1 は、産業界主要業種の低濃度PCB含有機器等の保有の概況の推計であり、鋭意処理の推進に取り組んでいる。
- ・ 図表 2 は、低濃度PCB含有・疑い機器の届出状況の推移（政府調査）であり、新規発見もあるなか、鋭意処理が進んでいる。

（図表 1）産業界主要業種での低濃度PCB含有機器等の保有概況（推計）



注 1) 汚染機器台数の数値には、使用中の封じ切り機器、封じ切り機器が内蔵された装置を含む。また、疑い機器台数に汚染率を乗じて算出した値が含まれる。
 注 2) 変圧器（柱上変圧器を含む）、リアクトル、コンデンサー、その他機器の合計（推計含む）。また、各業界において対象機器等に相違あり。

（図表 2）社会全体での低濃度PCB含有・疑い機器の届出状況

◆ 届出のあった低濃度PCB含有・疑い機器の全所有台数と同届出事業所数の推移

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
変圧器 (台)	38,902	37,339	30,236	28,139
その他機器 (台)	5,096	5,745	4,075	3,804
うち遮断器・開閉器 (台)	1,363	1,766	1,059	1,018
届出事業所数 (箇所)	11,540	12,400	10,422	9,382

◆ PCB濃度測定済みの所有台数と同届出事業所数の推移

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
変圧器 (台)	22,735	22,282	18,381	16,242
その他機器 (台)	3,002	3,230	2,445	2,079
うち遮断器・開閉器 (台)	804	910	604	585
届出事業所数 (箇所)	7,293	7,567	6,771	6,023

※ 所有（使用中）のコンデンサー等の封じ切り機器は濃度測定不可のため含まない

（出所：環境省「PCB特措法の低濃度PCB廃棄物の届出情報（令和元年度から同4年度）等についての整理と分析」／2025年1月）

近年において社会全体で低濃度PCB含有・疑い機器の処理が進んでいる一方で、今後低濃度PCB含有・疑い機器の新規発見も想定されるところ。社会全体では、処理期限後の使用中のPCB含有・疑い機器に対する管理制度等の導入について検討する必要。